

# 平成27年度事業報告

自 平成27年4月 1日

至 平成28年3月31日

## I 事業の状況

### 1 概況

平成27年度は、あづま総合運動公園、福島空港公園、逢瀬公園及び総合緑化センターについては、第3期の指定管理者として、福島市民家園については、第2期の指定管理者として、それぞれ2年目の管理運営に当たり、引き続き、来園者に快適かつ安全な施設を提供するため、定期的な巡回や点検など施設の適切な維持管理や緑化の推進に努め、管理する公の施設の健全な発展と公共の福祉の増進に寄与するよう努めてきた。

事業の実施に当たっては「効率的業務執行」と「サービスの向上」を基本とし、利用者のニーズに合わせた事業を展開した。

スポーツの普及指導においては、子どもを対象とした水泳や球技、体操などの各種スポーツ教室の開催のほか、テニス大会やウォーキング大会を主催するとともに、各種団体との共催によりスポーツイベント等を実施した。

また、レクリエーションの普及指導においては、「春の感謝デー」や公園の宿泊体験の実施、関係団体と連携した「あづまTeashooting市場」の開催に加え、子ども達に陸上競技場の芝生の中を裸足で遊んでもらう「スタジアムの芝生で遊ぼう」の実施、サイクルスポーツ広場にバッテリーカーを導入するなど、新たな取組みも行った。

さらに、緑化の推進普及においては、公園の季節ごとの魅力や見どころを伝える「公園の自然探訪」や「あづま森の楽校」の開催、公園施設の利活用を図るための「あづま香りのバラ園まつり」、「サクラ、イチョウ等の四季のライトアップ」など、緑化に関する体験会やイベント等を開催した。

なお、大規模なイベントとしては、あづま総合運動公園で、デスティネーションキャンペーンの一環として、復興の炎と花火のページェントと題した「ふくしまミュージック花火2015」（5月30日）や音楽を通じて社会貢献活動を呼びかける「ロックコープス」（9月5日）、旧広瀬座で個性豊かな出演者による「FOR座REST2015」（7月11・12日）などが開催された。

\* 以下、「あづま総合運動公園」を「あづま」、「福島空港公園」を「空港」、「逢瀬公園」を「逢瀬」、「総合緑化センター」を「センター」、「福島市民家園」を「民家園」という。

## II 事業概要

### 1 スポーツ・レクリエーションの普及指導及び体力の増進に関する事業【公益目的事業】

#### (1) スポーツの普及指導事業

##### 1) スポーツ教室

子どもを対象とした小学生初心者水泳教室や親子で楽しむ運動教室、ウォーキング教室等のスポーツ教室を開催し、県民サービスの向上に資するとともに、公園施設利用者の増加に努めた。

場 所	事業名	対 象	実施日	回 数	延べ参加者数
あづま	あづまガールズサッカースクール	小学生～中学生の女子	隔週水曜日 4～3月	24回	208名
	子どもハットボール体験会	小学生	4～3月	12回	86名
	ワンポイント水泳教室	プール利用者	4～6月 10月～3月	36回	191名
	正しいウォーキング教室	一般	4/6～6/1	8日×1期	283名
	親子で楽しむ運動教室	幼児・親	5～7月 10～12月	12回	446名
	小学生初心者水泳教室	小学生	5/1～12/12	6日×4期	597名
	小学生陸上競技教室	小学生	5/8～5/27	6日×1期	313名
	はじめての一輪車教室	小学生	6/21、9/20	1日2部 ×2期	89名
	子どもわんぱく体操教室	小学生	1/4～13	6日×1期	77名
	小学生水泳教室	小学生	2/20～3/6	6日×1期	83名
空 港	みどりの中のヨガ教室	一般	4/4、6/6、 8/1、10/3	4回	82名
	健康ウォーキング教室	一般	4/19、10/12	2回	18名
	公園で楽しく太極拳教室	一般	4/26、6/28、 8/23、10/25	4回	73名
空港、逢瀬、センター	ノルディックウォーキング体験教室	一般	4月～3月	空 港 逢瀬、センター	339名 579名

## 2) スポーツ大会

当協会が主催するマスターズテニス大会やパークゴルフ大会、各種スポーツ団体と共催のスポーツイベントやウォーキング大会を開催し、県民サービスの向上に資するとともに、公園施設利用者の増加に努めた。

場 所	事業名	対 象	実施日	延べ参加選手数
あづま	第 31 回福島市スポーツ少年団バレーボール競技大会	小学生	4/25、26	292 名
	第 4 回あづま総合運動公園チーム対抗テニス大会（人工芝完成記念大会）	一般	5/3	139 名
	第 31 回全国小学生陸上競技交流大会 県北地区予選会	小学生	5/30	688 名
	第 6 回あづま総合運動公園マスターズテニス大会	一般	6/11	92 名
	第 8 回あづまカップパークゴルフ大会	一般	7/4	180 名
	Me&You サッカーフェスティバル	小学生	7/4～5	800 名
	第 31 回全国小学生陸上競技交流大会 福島県選考会	小学生	7/5	1,400 名
	陸上競技投てき・跳躍講習会	中学生～ 一般	8/5	210 名
	第 36 回福島県サッカースポーツ少年団選抜大会	小学生	8/22、23	360 名
	第 11 回西方部親善木球大会 兼あづま杯木球大会	一般	9/6	60 名
	第 20 回ミニバスケットボールチビっ子フェスティバル	小学生 低学年	9/12、13	1,000 名
	2015 ふくしま健康マラソン大会	幼稚園児～ 一般	10/18	1,674 名
	第 23 回あづまカップ福島市ゲートボール交流大会	一般	10/22	76 名
	第 38 回総合運動公園庭球場オープン記念ダブルステニス大会	小学生、中学 生、一般	10/24、25	254 名
	第 13 回あづまの郷ウォーク大会	一般	11/3	1,760 名
うつくしまふくしま第 38 回福島県小学生バレーボール選手権大会	小学生	11/28、29	910 名	

場 所	事業名	対 象	実施日	延べ参加 選手数
あづま	第18回あづま荒川 クロスカントリー大会	中学生～ 一般	12/13	1,886名
	第15回あづまジュニア体操競技大会	小・中学生	1/16、17	80名
	あづまU-12 ガールズフットサル2016	小学生 女子	2/13、14	204名
空 港	須賀川市大東地区球技大会	一般	6/1	100名
	福島県ターゲット・バードゴルフ親善 交流大会	一般	7/24	120名
	ルームズカップ2015 第8回中学生 サッカーフェスティバル	中学生	8/22、23	480名
	第5回翡翠チャレンジカップ ～復興祈念・絆～	小学生	9/5、6	600名
	第12回福島空港公園杯 県南マスターステニス大会	一般	9/18	100名
	第6回福島空港公園杯 8人制ジュニア サッカーフェスティバル	小学生	9/26、27	600名
	第14回福島空港公園庭球場オープン 記念ダブルステニス大会	一般	9/27	100名
	第4回福島空港公園 秋季選抜 ジュニアシングルステニス大会	中学生	10/10、11	200名
	須賀川市市民体育祭 サッカー競技小学生大会	小学生	11/3	420名
	第9回福島空港公園杯 グラウンド・ゴルフ大会	一般	11/6	500名
	第9回福島空港公園杯 少年フットサル大会	小学生	11/21、22	500名
	須賀川市市民体育祭 サッカー競技中学生大会	中学生	11/21、22	400名
逢 瀬、 センター	第5回郡山ノルディック ウォーキング大会	一般	4/25	85名

### 3) ニュースポーツ普及指導事業

- ・体験会の実施

グラウンドゴルフ、バウンドテニスなどの体験会を春の感謝デー等で開催した。

(あづま 参加者数 延べ1,024名)

- ・器具貸出し

園内でのニュースポーツ活動、地域住民への器具貸出しを実施した。

(あづま 貸出件数 延べ 82件)

#### 4) 他団体連携によるスポーツ普及指導事業

各種競技団体やスポーツ関係のNPO法人などと協働でウォーキング大会やシニアスポーツ相談を開催し、県民の健康増進に努めた。

場 所	事業名	内 容
あづま	シニアスポーツ相談室の運営	シニア世代の健康増進の一助として、スポーツ・レクリエーション活動に関する情報を継続提供した。相談件数(222件)
	第13回あづまの郷ウォーク大会	福島県ウォーキング協会や福島西地区行政区等と協働で開催した。11/3、参加者数1,760名。
空 港	第8回空のみちウォーク2015	NPO法人や地域の団体と協働で空港公園や空港周辺を歩くウォーク大会を開催した。11/8、参加者数600名。
逢 瀬、センター	ノルディックウォーク in 出逢いのまち逢瀬2015	地域団体等と実行委員会を組織し、ノルディックウォークで地域の見所を歩き、地域特産の食の提供により、地域の活性化に努めた。10/4、参加者数170名。

#### 5) 職員が有する能力及び資格を活用したスポーツ普及指導事業

職員の持つ資格や技術を活用し、県民の健康づくりに寄与する事業を実施した。

- ① 水泳指導（小学生初心者水泳教室、ワンポイント水泳教室、水連合宿）
- ② サッカー指導（ガールズサッカースクール、主催フットサル大会の審判等）
- ③ アーチェリー指導（合宿、練習会）
- ④ トレーニング指導（高校生ウェイトトレーニング教室（他団体へ派遣）等）

#### 6) 月会員制事業

##### ① 体育館トレーニング室

大人2,470円、高校生1,240円で、期間内1日1回2時間まで何日でも使用が可能な月利用料金を設定した。（本年度登録者数は、延べ742名）

また、シルバー月会員1,850円（期間内1日1回2時間まで、13時～16時までに入室）を設定した。（延べ33名）

##### ② 体育館室内プール

大人3,700円、4歳児～高校生1,850円で、期間内1日1回何日でも使用が可能な月利用料金を設定した。（延べ121名）

また、シルバー月会員（65歳以上）2,470円で、期間内1日1回何日でも使用が可能な月利用料金を設定した。（延べ235名）

③ トレーニング室・プール共通

大人 4,940 円、シルバー（65 歳以上）3,490 円、生徒 2,470 円で、期間内プール 1 日 1 回、トレーニング室 1 日 1 回 2 時間まで、何日でも使用可能な会員制度（延べ 7 名）を設定した。

(2) レクリエーションの普及指導事業

1) レクリエーション事業

管理運営している公園のフォトコンテストを実施したほか、各種イベントや体験型教室など、県民の生涯学習の場として知識や技術を向上させる事業を開催した。

場 所	事 業 名	内 容
あづま、空港、逢瀬、センター、民家園	公園フォトコンテスト	第 9 回フォトコンテストに、思い出の瞬間や風景など 428 点の応募があった。入賞作品については、3 月にあづまに展示したほか、次年度には、センター、空港、コラッセ福島、福島県庁に展示する。
あづま	みどりの県民カレッジ	公園のボランティア活動の人材育成につながることを目的に、公園の特色を活かした講座を毎月開催した。参加者数 282 名。
	みどりのサポーターの活動	公園内での貢献活動と技術習得の場を企業、団体等に提供した。また、JA 新ふくしまが園内清掃を行った。全 7 回開催。参加者 108 名。
	みどりのボランティアの活動	草花栽培などの技術習得の場を提供し、地域のボランティアリーダーの養成を目指した。8 回開催。参加者 78 名。
	復興支援 緑と花のあふれるまちづくり	福島商工会議所女性会とともに草花の栽培などを行い、地域の美化に取り組んだ。6 回開催。参加者 65 名。
	あづまバラ愛好会の活動	バラ栽培を学ぶ場として、公園のバラ園を活用して技術指導などを行った。22 回開催。参加者数 498 名。
	公園カルチャー教室	募集した講師（講座）による教室を春・秋 2 期 32 講座開催した。参加者数 319 名。
	あづま森の楽校【新規】	公園の豊かな自然の中での活動を通し、森の恵や元気と希望を与えることを目的とした体験型の教室を前期・後期 11 回開催した。参加者数 94 名。
	公園の自然探訪【新規】	福島県もりの案内人の会の方のガイドにより、公園を代表するサクラ、ヤマユリ、バラ、イチョウの鑑賞会を 4 回開催した。参加者数 42 名。

場 所	事 業 名	内 容
あづま	春の感謝デー	公園の新緑の中で県民が参加し楽しめる、フリーマーケット、ステージショー、各種体験会などを開催した。4/26、参加者数 11,500 名。
	福島っこ応援 みどりと花の教室2015	子供たちが楽しく安全に植物に触れることができる機会を提供する教室を3回開催した。参加者数 47 名。
	スタジアムの芝生で遊ぼう 【新規】	競技場のホッパーの上で、裸足で遊ぶことにより子供たちの健康増進と自然とのふれあいを目的として6月と9月に実施した。253名参加。
	復興支援 ラベンダー摘み取り & ラベンダースティックづくり 体験会	公園資源を活用して、子どもたちの心身の健康増進を目的に開催した。7/13、参加者数 26 名。
	「公園の達人」宿泊体験	公園の自然の中で、宿泊体験を通し公園の可能性や自然の大切さを学ぶことを目的に開催した。8/1・2、2/13・14、参加者数 59 名。
	冬のキッズフェスタ	子どもたちが参加するイベントを開催し、公園への親しみを醸成した。12/20、参加者数 4,805 名。
空 港	空港公園で夢体験 早春の自然観察を楽しむ	公園の豊かな自然を知ってもらい、イメージ向上となるよう、早春に咲く山野草の観察会を開催した。4/12、参加者数 40 名。
	手作り体験教室	シロ葉のバッタづくり、とんぼ玉、竹とんぼづくり、手作りピザ、つる編み、ミニ門松づくりの各教室を開催した。6回、参加者数 123 名。
	空港公園「わくわく自然探検隊」	各公園エリアでオリエンテーリング等を実施した。4回、参加者数 51 名
	空港公園で農体験	みんなの野菜畑（植え付け、勉強会、収穫祭、芋掘り）を開催した。参加者数 36 名。
	自然環境教室「森の達人になろう」	昆虫トラップづくり、木の枝クラフト、森の中で原始人になろうを実施した。4回、参加者数 116 名。
	カブトムシ観察舎の設置	子どもたちの利用促進を図るため、エアフロントエリア、緑のスポーツエリアにカブトムシ観察舎を設置した。7/26～8/30、観察者数 1,271 名。

場 所	事 業 名	内 容
逢 瀬、 センター	逢瀬わくわくものづくり体験	薬草ハーブの寄せ植え&ハーブティー教室、素敵な藍染め体験教室、葉っぱのお皿陶芸教室、お正月を飾るミニ門松づくり教室を開催した。参加者数 90 名。
	逢瀬ときめき自然体験	春の森の観察会、昆虫クラフト&公園ナイトウォッチング、スノーシューを楽しむ雪上観察を開催した。参加者数 71 名。
	園芸福祉活動コーナー	高齢者施設の利用者等に車椅子でも気軽に園芸体験ができる場を提供した。
	みどりのコンサート	日本庭園を会場に、春の山野草展の開催日に合わせ、アマチュア音楽家によるミニコンサートを開催した。5/23、見学者数 70 名。
	オオムラサキ・甲虫観察舎の設置	国蝶オオムラサキとカブトムシなどの昆虫の観察舎を設置して、子どもたちの利用促進に努めた。6月～8月、入場者数 6,026 名。
	公園の野鳥教室	ペットボトルトラップ作り&昆虫観察、鳥の餌台づくり&冬鳥観察&焼き芋体験を開催した。参加者数 48 名。
	きのこのサイエンス講座	毒きのこの見分け方や放射能の影響などをテーマに夏と秋の2回開催した。参加者数 41 名。



## 2) 他団体連携によるレクリエーション普及指導事業

ふくしま手づくりマルシェ、ふくしまキッズ博など、地域の団体などと協働で各種イベントを開催することにより、地域の公園として、地域の活性化等の役割を担うとともに、公園利用者の増に努めた。

場 所	事 業 名	内 容
あづま	みどりのサポーターの活動	福島明成高等学校には芝生のメンテナンスや樹木の剪定実習の場を提供した。また、JA新ふくしまが園内清掃を行った。参加者数 108 名。
	復興支援 緑と花のあふれるまちづくり	福島商工会議所女性会とともに、草花の栽培などを行い、地域の美化に取り組んだ。6 回開催。参加者数 65 名。
	あづま森の楽校【新規】	福島県もりの案内人の会との共催で、公園の豊かな自然の中での活動を通し、森の恵みや元気と希望を与えることを目的とした体験型の教室を前期・後期全 11 回開催した。参加者数 94 名。
	公園の自然探訪【新規】	福島県もりの案内人との協働事業により、サクラ・ヤマユリ・バラ・イチョウなどの季節の樹木や花の鑑賞会を行った。4/22～11/8（全 4 回）、参加者 42 名
	ふくしま手づくりマルシェ	手づくり品の展示販売を通して、県内外の観光客を誘致し、活性化と安全性を PR した。5/31、参加者数 12,500 名。
	ふくしまキッズ博	子ども対象の玩具遊びなどを通して福島の魅力を再認識してもらうイベントを開催した。8/8・9、参加者数 22,000 名。
	第 11 回西方部親善木球大会 兼あづま杯木球大会	福島市西地区体育振興協議会と共催で初心者でも参加できる木球のオープン大会を開催した。9/6、参加者数 60 名。
	イチョウ並木の手づくりミニコンサート	黄葉のイチョウ並木道において、応募した参加者と観客との交流を目的に開催した。あづま Teshi-got 市場と同時開催。10/24、来園者数 3,015 名。

場 所	事 業 名	内 容
あづま	あづま Teshi-got 市場	手づくり品を通じた交流を目的にイベントを開催した。10/24・25、来園者数 39,596 名。
	第 13 回あづまの郷ウォーク大会	福島県ウォーキング協会や福島西地区行政区等と協働で開催した。11/3 開催。参加者数 1,760 名。
	早春のクリスマスローズ展	福島クリスマスローズ愛好会との協働事業で展示会、講演会、各種体験会を開催した。2/19～21、参加者数 20,585 名。
空 港	菜の花コンサート&アレンジ	菜の花の開花に合わせて、菜の花畑でのコンサート、菜の花を使ったフラワーアレンジ教室を実施した。4/29、参加者数 50 名。
	復興支援 YOSAKOI in 空港公園	地域のよさこい団体から参加者を募集し、活動と披露の場を提供した。5/3、来園者数 4,725 名。
	第 4 回空港公園 ハンドメイドマーケット「ソライチ」	地域の手作り愛好者団体と協働で、手づくり品を販売するイベントを開催した。5/31、来園者数 20,475 名。
	お月見観賞会	地域で活動している音楽グループ、語部の会と協働で、お月見観賞会を開催した。9/27、参加者数 200 名。
	コスモス観賞会&コンサート	コスモスの開花に合わせて、コンサートを実施した。10/24、参加者数 30 名。
	空のみちウォーク	NPO 法人や地域の団体と協働で空港公園や空港周辺を歩くウォーク大会を開催した。11/8、参加者数 600 名。
	「空港公園」そば道場	NPO 法人と協働で、空港公園「そば畑」で栽培したそば粉を活用した、そば道場を開催した。12/5、参加者数 90 名。

場 所	事 業 名	内 容
逢 瀬、 センター	春の山野草展、秋の盆景展	センターを拠点として活動するみどりの愛好会（2団体）と協働で、山野草の展示会を開催した。入場者数 1,695 名。
	さくらまつりの開催	満開のさくらの広場を会場に、地域の商工会と協働で地域観光や地場製品のPRを行った。4/19、参加者数 6,300 名。
	みどりのフリーマーケット	4月19日の「さくらまつり」と同時に開催し、13店舗の参加があった。
	福島っ子応援木の枝クラフト体験会	福島県もりの案内人の会と協働により、木の実や木の枝を材料としたクラフト体験会をさくらまつりに合わせて開催した。4/19、参加者数 185 名。
	朝採り野菜市	地域の生産者と協働で地域の活性化と公園利用の促進に努めた。6月～11月、利用者数 530 名。
	ノルディック i n 出逢いのまち逢瀬	地域づくりに関心のある有志と結成した実行委員会の主催により、逢瀬公園をスタート・ゴールに地域の名所等をノルディックウォークで歩くイベントを開催した。10/4、参加者数 170 名。
	逢瀬公園秋の感謝祭	わんぱく広場を会場に、地域の各種団体の協力を得ながら開催する予定だったが、雨のため中止した。
民家園	檜枝岐歌舞伎	旧広瀬座において、県の重要無形文化財指定の檜枝岐歌舞伎が開催された。6/20・21、参加者数 2,246 名
	FOR座REST2015	音楽を自然に囲まれた民家園内の芝居小屋旧広瀬座で楽しみたいとのことから、個性豊かで魅力的な出演者のステージが開催された。7/11・12、参加者数 7,658 名
	黒川能	旧広瀬座において、国の重要無形文化財指定の山形県鶴岡の黒川能が開催された。9/27、参加者数 1,008 名

### 3) 地域連携によるレクリエーション普及指導事業

空港公園ふれあいデー、逢瀬公園さくらまつりなど、地域の自治会や団体などと協働で様々なイベントを開催し、地域の活性化に取り組んだ。

場 所	事 業 名	内 容
あづま	「地域に学ぶ中学生体験学習」の生徒受け入れ（市内各中学校）	地域の中学校が行う職場体験学習を受け入れ、施設の見学や職員が行っている業務体験を行った。参加者数 2 校より 7 名。
	みどりのサポーターの活動	福島明成高等学校には芝生のメンテナンスや樹木の剪定実習の場を提供した。また、JA 新ふくしまが園内清掃を行った。参加者数 108 名。
	復興支援 緑と花のあふれるまちづくり	福島商工会議所女性会とともに、草花の栽培などを行い、地域の美化に取り組んだ。6 回開催。参加者数 65 名。
	あづまバラ愛好会の活動	バラ栽培を学ぶ場として、公園のバラ園を活用して技術指導などを行った。2 2 回開催。参加者数 498 名。
	西いきいきふれあい合宿の受け入れ（福島市西学習センター主催）	福島市が主催する小学生の宿泊体験を体育館 3 階の宿泊施設を利用して開催し、子どもたちの育成に寄与した。6/22～26、参加者数 19 名。
	子ども応援プロジェクト（絵本ぶんこ読み聞かせ）	地域の読み聞かせ団体と協働で、来館した幼児とその保護者を対象に読み聞かせを開催した。3/13、22 名。
空 港	復興支援 空港公園ふれあいデー	地域で活動する各種団体と連携し、空港公園が地域活動拠点となることを目的に、フリーマーケット、ミニコンサート、ハワイアンダンス、おもしろサイクル、フライングディスク、どんぐり飾りやプラ板づくり、地域物産販売、飲食テント村等を 4 月～10 月（4 回）開催した。来園者数 10,469 名。
	地域の花いっぱい運動への花苗の栽培提供	地域の緑化の普及・啓発を図るため、協会では栽培した草花を地域の美化運動へ提供した。6 月中旬、マリーゴールド、サルビア苗 2,300 ポット。

場 所	事 業 名	内 容
逢 瀬、 センター	逢瀬公園さくらまつりの開催	地域の商工会と実行委員会を組織し、ソメイヨシノが満開のさくらの広場を会場に地元アイドルや子ども太鼓等が登場するイベントを賑やかに開催した。4/19、 参加者数 6,300 名。
民家園	縁側の山野草展・即売会	古民家の風情と稀少な山野草の展示会を開催し、同時に苔玉作り体験会や即売会を開催した。6/6・7 参加者数 803 名。

#### 4) サイクルスポーツ広場事業

変わり種自転車や一輪車、そり(無料)の貸出を行った。毎月1回、無料開放日を設け、家族団欒と子どもたちの健康増進の場の提供に努めた。

利用者数は、延べ 428,035 名、有料自転車等利用者数は 184,427 名、バッテリーカー利用者数 16,017 名であった。(あづま)

### (3) 体力の増進事業

場 所	事 業 名	内 容
あづま	軽運動室の無料開放	放射能の影響により屋外で遊ぶことが少なくなった子どもたち(小学生以下対象)に、本来有料施設である軽運動室を無料開放した。利用者数 61,821 名。

#### (4) その他の事業

##### 1) 文化伝承事業

七夕飾り、風鈴飾りなど、季節にふさわしい室内展示や生活・文化を伝承する通年の行事を開催した。

場 所	事 業 名	内 容
あづま	季節感を創出する伝統文化の展示	季節に合わせ、七夕飾りと風鈴を展示した。また、門松製作及び設置、団子さし、お月見、ハロウィン、クリスマス飾りを展示した。また、あづま森の楽校では自然素材を活かした干支づくりや、昔の暮らしの体験として、火起しにチャレンジした。
空 港	季節の伝統行事に親しむ	鯉のぼりづくり、七夕の短冊飾り、クリスマスツリー飾り、団子さし、鬼のお面づくり、お雛さま飾りを地域の幼稚園児等と制作し、エアフロントエリア休憩所に展示した。4月～2月、参加者数205名。
民家園	年中行事・体験行事・実演行事・ボランティアガイド	年中行事等の再現や来園者へのガイドの手配等円滑な運営に努めた。
	全国のだるま展示会・絵付け体験	寄贈品の展示と展示を活用した絵付け体験を実施。施設の利活用に寄与した。12/20～2/27、参加者44名。
	お正月遊び体験	民家園を活用した昔ながらのお正月遊びを来園者に提供した。1/4～11。

## 2 都市公園並びにスポーツ・レクリエーション及び歴史・文化・自然に関わる施設の管理運営事業【公益目的事業】

### (1) 指定管理施設

#### 1) 指定管理者としての施設の維持管理業務

施設名	面積 (ヘクタール)	維持管理施設
あづま総合運動公園	88.2	総合体育館ほか有料施設 11施設 巨石広場ほか無料施設 10施設 (クライミングウォールを含む。)
福島空港公園	43.9	庭球場ほか有料施設 4施設 日本庭園ほか無料施設 9施設
逢瀬公園	17.3	桜の広場ほか無料施設 5施設
総合緑化センター	16.5	管理棟 1施設 日本庭園ほか無料施設 17施設
福島市民家園	11.0	古民家 11施設 展示館、管理棟、休憩棟 3施設

### (2) 施設管理運営事業

#### 1) 定期的な巡視

安全・安心な施設利用を提供するため、定期的な巡視を行い、異常があった場合は適切な対応に努めた。(あづま、空港、逢瀬、センター、民家園)

#### 2) 点検作業

適正な施設の維持管理と点検作業の体系化を図るとともに、遊具の日常管理や保守点検に努めた。(あづま、空港、逢瀬、センター、民家園)

#### 3) 修繕計画

有資格者の職員による施設点検を行い、更新などの修繕計画を作成した。また、これを福島県などの施設管理者に予算確保のための資料として提出した。(あづま、空港、逢瀬、センター、民家園)

#### 4) 災害等の対応

来園者の安全確保や不法行為の防止及び災害等の不測の事態に備えるために、避難誘導訓練や普通救命講習などを実施した。(あづま、空港、逢瀬、センター、民家園)

#### 5) 放射線量測定

園内各施設の放射線量を定期的に測定し、ホームページや掲示板への掲示により利用者に情報を提供した。(あづま、空港、逢瀬、センター、民家園)

#### 6) 古民家等の適切な管理

貴重な古民家及び民俗資料を次世代に引き継いでいくため、適切な管理に努めた。(民家園)

### (3) 緑地管理事業

- ① 各植物の特性に配慮した植栽管理に努めた。(あづま、空港、逢瀬、センター、民家園)
- ② 生育状況や利用に応じた適切な芝生管理に努めた。(あづま、空港)
- ③ 植物調査を実施し、植生の把握に努めた。(あづま、民家園)
- ④ 景観性に配慮した植栽管理に努めた。(あづま、逢瀬、センター)
- ⑤ 貴重な植物の保護に取り組んだ。(あづま、逢瀬、センター)
- ⑥ 季節毎に楽しめる草花管理、自然美に配慮した下草管理、意匠性と自然美を融合させた植栽管理に努めた。(あづま)
- ⑦ 日本庭園における各種竹垣設置による日本らしさ、郷土性、季節感の感じられる緑地管理に努めた。(空港)

### (4) 有料施設管理事業

- ① 有料施設の適正な利用受付及び貸出業務を行うことにより、公平・公正な貸出に努めた。(あづま、空港、センター)
- ② 有料施設の公平・公正な貸出を確保するための利用者会議の開催及び有料施設の年間利用計画の策定に努めた。(あづま、空港)



## (5) 指定管理施設の利用者数

あづま総合運動公園では、昨年度除染工事により利用制限のあった野球場が通年で使えることになったことやデスティネーションキャンペーンの「ふくしまミュージック花火2015」の開催や音楽を通じて社会貢献活動を呼びかける「ロックコープス」の開催により利用者が増加した。

福島空港公園では、平成26年度に多目的運動広場芝生補修工事に伴う芝生養生期間（平成26年6月まで）を設けていたが、平成27年度は通常利用が可能となったことや福島空港公園 handmademarket 「ソライチ」、空港公園ふれあいデー等に多くの来園者があったことから、前年度より利用者数が増加した。

逢瀬公園・緑化センターでは、秋の最大イベントである秋の感謝祭が雨で中止となったものの、さくらまつりや MUSIC LIVE の開催、平日の散策利用等が好調に推移したことなどから、前年度を上回る利用者数となった。

民家園においては、音楽を自然に囲まれた芝居小屋で楽しむ「FOR座REST 2015」等が開催され、前年度より利用者数が増加した。

単位：人

公園名	H22	H23	H24	H25	H26	H27	対前年度比
あづま	1,383,641	1,156,648	1,890,242	1,507,945	1,772,697	1,839,769	103.8%
空 港	432,972	379,192	420,787	474,787	438,047	508,824	116.6%
逢 瀬、 センター	162,339	129,160	139,544	163,554	180,757	183,637	101.6%
福島市 民家園	47,175	15,969	33,380	36,183	38,047	46,169	121.3%
合 計	2,026,127	1,680,969	2,483,953	2,182,469	2,429,548	2,578,399	106.1%

### 3 都市公園等に関する情報の収集、広報、調査研究及び利用促進並びに地域づくりに関する事業【公益目的事業】

#### (1) 都市公園等の情報収集事業

- ① イベント開催時に公園利用者へのアンケート調査を実施し、分析結果を次の開催に反映した。(あづま(ライトアップ時に実施。対象イベント数3件、回収数 222件。))
- ② 公園管理運営の意見や苦情をホームページや意見箱などで収集した。
- ③ 大会開催時等に利用団体等から施設や運営についての情報収集を行った。
- ④ 他類似公園の管理運営情報の収集を行った。  
(全国公園協議会現地検討会、東北地区体育施設研究協議会、他類似団体経営調査「栃木県・群馬県・埼玉県・大阪府・兵庫県」)

#### (2) 都市公園等の広報事業

- ① マスメディアを活用した広報活動を積極的に展開した。(あづま、空港、逢瀬、センター、民家園)
- ② スポーツ団体、学校、各種団体等に対し施設利用誘致活動の推進に努めた。(あづま、空港、逢瀬、センター、民家園)
- ③ 協会発行の広報誌配布による県民への情報提供を行い、利用促進に努めた。(あづま、空港、逢瀬、センター、民家園)
- ④ 園内で見られる花を図鑑として作成し、これを花の時期に掲示することにより、みどりの普及・啓発に努めた。(あづま、逢瀬、センター、民家園)
- ⑤ ホームページ掲載中の各施設の現況や大会・イベント開催状況などの情報をこまめに更新することにより、来園者の利便性向上に努めた。(あづま、空港、逢瀬、センター、民家園)
- ⑥ ホームページ「公園の四季」において、園内の開花状況などの情報を随時提供した。(あづま)
- ⑦ ツイッターを活用し、リアルタイムな情報提供と情報交換に努めた。(あづま、民家園)
- ⑧ 電光掲示板やデジタルサイネージ(電子看板)を活用し、リアルタイムな情報提供に努めた。(あづま)
- ⑨ 植物学習の場を提供するため、植物名板の充実に努めた。(あづま、逢瀬、センター、民家園)
- ⑩ インターネットのブログの日常的な更新に努め、公園の最新情報の提供に努めた。(空港、逢瀬、センター、民家園)
- ⑪ 年間を通し、公園で開催される大会やイベント内容を園内掲示板への掲示により情報提供した。また、公園に対する意見・要望への回答も掲示した。(あづま、空港、逢瀬、センター、民家園)

- ⑫ 公園利用者が所有する情報を交換できる「みんなの公園情報掲示板」を休憩所に設置し、利用者の交流の場を提供した。(逢瀬、センター)
- ⑬ 地域団体との協働により、デスティネーションキャンペーン事業へ参画した。(あづま、民家園)
- ⑭ 桜による新名所「逢瀬さくらの里」づくりを目的に結成した実行委員会により、公園の北を流れる逢瀬川沿いに植えた桜を育てる活動を推進した。(逢瀬、センター)

### (3) 都市公園等の調査研究事業

- ① 全国公園協議会現地検討会へ職員を参加させ、情報収集や情報交換を行った。
- ② 他類似団体の経営状況把握を目的に、栃木県・群馬県・埼玉県・大阪府・兵庫県の公園管理団体の経営状況及び現地調査を行った。

### (4) 都市公園等の利用促進事業

#### 1) 施設の特性を活かした事業の推進

- ① 距離表示板の設置やマップ作成等により、園内ウォーキングコースの充実に努めた。(あづま、空港、逢瀬、センター)
- ② 公園案内、スポーツ指導、イベント補助、年中行事の伝承などにおいて、ボランティア活動の場を提供した。(あづま、空港、逢瀬、センター、民家園)
- ③ あづまボランティアの活動、みどりのボランティアの活動、みどりのサポーターの活動、福島空港公園ボランティア、おうせボランティアの育成と活動の場を提供した。(あづま、空港、逢瀬、センター)
- ④ 軽運動室を復興支援として引き続き無料開放した。(あづま)
- ⑤ 毎月1回、次の有料施設を個人利用者に無料開放する「個人利用サービスデー」を実施した。(あづま、空港)
  - ア あづま総合運動公園
    - プール、体育館トレーニング室、陸上競技場(トレーニング室含む)、庭球場、サイクルスポーツ広場。利用者数は44,631名。
  - イ 福島空港公園
    - 庭球場。利用者数は1,137名。
- ⑥ 利用者の利便性向上のため、下記施設で利用時間を19時まで延長する「サマータイム」を実施した。(あづま)
  - ア あづま総合運動公園(7月4日～8月16日)
    - 庭球場、軟式野球場、ミニ多目的運動広場、スポーツイベント広場、サイクルスポーツ広場。利用者数は457名。

- ⑦ 福島空港公園フットサルコートの特典サービス（年間）（空港）【新規】  
フットサルコートにおいて、10時間利用で1時間分無料の回数券を発行した。
- ⑧ 学校や幼稚園等の遠足・見学等を随時受け入れた。なお、雨天の際には休憩の場として、屋内施設を提供した。（あづま、空港、逢瀬、センター、民家園）
- ⑨ 公園利用の促進並びに芝グラウンドのプロスポーツ利用に対応すべく、3月～11月末までの使用可能となるよう芝生の養生管理に努めた。（あづま）
- ⑩ NPO法人のスポーツクラブを支援し、協働でカルチャー教室の開催やシニアスポーツ相談室の運営を行った。（あづま）
- ⑪ サクラやヤマユリ、古民家などの公園資源を活用したライトアップを開催し、公園の魅力を発信した。（あづま、民家園）
- ⑫ 日本らしさと四季の演出、公園の新たな魅力の再発見を目的に、日本庭園マツ雪吊りのライトアップを実施した。【新規】（空港）
- ⑬ 公園資源を活用したラベンダーの摘み取り体験会やスティックづくりなどのイベントを開催し、各種植物園（バラ園とシャクナゲ園など）としての魅力を発信した。（あづま）
- ⑭ ヤマユリ群生地地の保全を図るとともに、アジサイ園、シャクナゲ園、バラ園の植物園としての適切な管理に努めた。（あづま）
- ⑮ バラの愛好者が集い、公園内のバラ園を活用して栽培技術などを学ぶ「あづまバラ愛好会」の活動を支援した。（あづま）
- ⑯ 草花の栽培技術の伝達などを通し、地域団体をみどりで支援する「緑と花のあふれるまちづくり」事業に取り組んだ。（あづま）
- ⑰ 条例で休館日となっている第3日曜日も開館し、公園利用者の利便を図った。（センター）
- ⑱ ウォーキングを楽しむ利用者への更なる情報提供を充実させるため、逢瀬公園坂道健康ウォーキングマップ&周辺のんびりウォーキングマップを西駐車場に配置した。（逢瀬、センター）
- ⑲ 公園利用者の利便性の向上と地域連携を目的に開店した「公園の駅おうせ茶屋」の運営に協力した。同施設では、郷土料理「キャベツ餅」の販売や地域食材を活用した飲食サービスの他、公園や周辺地域の観光情報の提供等にも取り組んだ。（センター）
- ⑳ 植物名板や解説板の増設を行うとともに、薬用植物園内に新たに薬草ハーブコーナーを整備し、施設の魅力アップを行った。（逢瀬、センター）
- ㉑ 古民家の風情を活かした「縁側の山野草展・即売会」、「生花展示」、「だるま絵付け体験」、また、寄贈された民具を活用した「着物展示」、「だるま展示」を開催し、利用促進を図った。（民家園）

- ㊸ 福島市小鳥の森と共催で、「コーヒーを飲みながら野鳥の声を聞こう」他2事業を開催し、民家園の新たな魅力発信を図った。(民家園)
- ㊹ 利用者からの健康増進のための要望に応え、卓球台を設置し、貸し出し(有料)を行った。(空港)
- ㊺ 園内の魅力を判り易く紹介した公園案内マップを20数年振りに全面改訂し、来園者の利便性の向上と利用促進に努めた。(逢瀬、センター)

### (5) 都市公園等の地域づくり事業

地域の団体等との協働により様々なイベントを開催するとともに、市内の中学校の体験学習やボランティアの受入れを通し、地域の活性化や地域づくりのリーダーとなる人材等の育成に取り組んだ。

場 所	事 業 名
あづま	「地域に学ぶ中学生体験学習」の生徒受け入れ(市内各中学校)
	子ども応援プロジェクトの実施
	みどりのサポーターの活動
	みどりのボランティアの活動
	復興支援 緑と花のあふれるまちづくり
	あづまボランティアの活動
	あづまバラ愛好会の活動
	西いきいきふれあい合宿の受け入れ(福島市西学習センター主催)
	あづまの郷ウォーク大会
空 港	復興支援 空港公園で夢体験
	復興支援 空港公園ふれあいデー
	空のみちウォーク
逢 瀬、 センター	地域の花いっぱい運動への花苗の栽培提供
	出逢いのまち、出逢いの公園づくりへの取り組み
	逢瀬公園さくらまつり
	みどりのフリーマーケット
	朝採り野菜市

#### 4 緑化に関する普及指導、情報の収集及び調査研究に関する事業【公益目的事業】

##### (1) 緑化推進の普及指導及び情報収集事業

##### 1) 公園資源を活用した緑化推進事業

- ① 公園資源を活用したあづま森の楽校やスタジアムの芝生で遊ぼうなどの体験会、ライトアップ等を実施するとともに、花苗の無料配布等により、緑化の推進に努めた。

場 所	事 業 名	実施日	参加者数
あづま	あづまバラ愛好会の活動 (22回開催)	4/6～2/1	498名
	サクラの光のファンタジー	4/11～4/26	13,005名
	あづま森の楽校【新規】	4/19～2/14	94名
	公園の自然探訪【新規】	4/22、6/4、 7/11、11/8	42名
	「みどりのボランティア」の活動	4/24～3/25	78名
	春の感謝デー花苗配布 (1,000ポット)	4/26	500名
	ジャンボかぼちゃづくり	5月～10月	—
	みどりのサポーターの活動	6/15～11/9	108名
	復興支援 緑と花のあふれるまちづくり	6/18～11/12	65名
	スタジアムの芝生で遊ぼう【新規】	6/20、9/21	253名
	ヤマユリ光のページェント	7/4～7/26	12,938名
	復興支援 ラベンダー摘み取り&ラベンダースティックづくり体験会	7/13	26名
	「公園の達人」宿泊体験	8/1・2 2/13・14	59名
	あづま「香りのバラ園まつり」【新規】	10/3・4	7,320名
	イチョウ光のプロムナード	10/24～11/23	12,398名
	光のTREEページェント	12/19～1/24	14,867名
	早春のクリスマスローズ展	2/19～2/21	20,585名
	園内掲示板への花だより情報の掲載	年間	—
	新たな植物園の設置 (香りのバラ園、アジサイ、シャクナゲ等)	年間	—
協会発行広報誌への「花だより」情報の掲載	6回	—	

場 所	事 業 名	実施日	参加者数
空 港	みんなで育てよう ハナモモの名所づくり	4/18	60 名
	花づくりサポート事業	5/3、9/19	2,000 名
	空港公園で農体験	5/18～10/25	36 名
	みどりのカーテン設置	5/18～9/7	—
	コスモス畑・コスモスの小径をつくろう コスモス観賞会&コンサート	6/14、10/24	70 名
逢 瀬、 センター	みどりの日記念花苗無料配布 (840 ポット)	5/4	280 名
	山野草展	5/22～24・ 10/16～18	1,695 名
	国蝶オオムラサキとふれあう公園づくり	6/1～8/23	6,026 名
	夏休みみどりの絵画募集	8/31～9/10	26 名
民家園	みどりのカーテン設置	5/18～9/18	—
	縁側の山野草展	6/6～7	803 名
	植物見頃情報板の設置	通年	—

- ② 緑化に関する知識の向上を目的に、家庭園芸の基礎を学ぶ各種教室や自然とふれあう体験教室を開催することにより緑化の普及に努めた。

場 所	イベント名	実施日	参加者数
あづま	あづま森の楽校【新規】	4/19～2/14	94 名
	公園の自然探訪【新規】	4/22, 6/4, 7/11, 11/8	42 名
	うつくしま巨樹・古木めぐり	5/22, 7/10, 10/16, 11/20	159 名
	福島っ子応援みどりと花の教室	6/21, 8/2, 12/13	47 名
空 港	空港公園わくわく自然探検隊	5/9、8/9、10/4、3/5	51 名
	季節を彩るフラワーアレンジ	5/23、7/4、9/26、 10/31、12/26、2/13	95 名

場 所	イベント名	実施日	参加者数
空 港	福島っ子応援みどりと花の教室	6/14、7/12、12/20	81名
	季節を楽しむ「みどりの講座」	6/14、7/12、9/5、 10/4、12/6	83名
	樹木剪定専門技術研修	6/24～27	11名
	自然環境教室「森の達人になろう」	7/26、8/23、10/25、11/28	116名
逢 瀬、 センター	逢瀬ときめき自然体験	4/19、7/25、2/11	71名
	樹木剪定実技講習	5/12～11/3	70名
	みどりと花の総合講座	5/22～12/22	247名
	福島っ子応援みどりと花の教室	6/6、7/5、12/5	104名
	樹木医が教えるみどりの教室	6/7、9/15、3/16	42名

## 2) 職員が有する能力及び資格を活用した緑の普及指導事業

みどりの専門分野の知識・能力を活用し、ガーデニング教室、園芸教室等の教室や講座を開催することにより、みどりの普及啓発に努めた。

場 所	事 業 名	内 容
あづま、逢瀬、センター	うつくしま巨樹・古木めぐり	巨樹・古木を通して、歴史や樹木の生態、更にはみどりへの関心を持ってもらうことを目的にあづま発とセンター発で4回開催した。参加者数159名。
あづま	みどりの県民カレッジ(月1回開催)	公園の特色を活かした親しみのある講座の中で職員が持つ技術提供を行った。参加者数282名。
空 港	季節を楽しむ「みどりの講座」	家庭での庭づくりやガーデニングの基礎知識を公園から伝えることを目的に、5回の講座を開催した。参加者数83名。
逢 瀬、 センター	芝生の葉アートを楽しもう	みどりに親しんでもらうことを目的に、展望台から見下ろすことのできる芝生の広場で、地域の子どもたちに手動芝刈り機を使って芝刈り作業を体験してもらった。緑の芝生の中に大きなハートマークを浮かび上がらせることができた。5/29、参加者数16名。



### 3) その他受託事業

グリーンアドバイス事業の受託

①あづま総合運動公園・空港公園にグリーン・アドバイス・センターを開設し、一般県民及び市町村、団体から庭木や草花の病害虫の診断や防除指導等、緑に関する疑問や質問等の相談をみどりの有資格者が受け対応した。

・緑地の設計	20件
・緑地の造成	67件
・緑化木の剪定	471件
・緑化木の栽培管理	1,177件
・緑化木の病害虫の診断及び防除	3,651件
・緑化木の生産・流通	23件
・その他	12件
合 計	5,421件
〔うち、相談室内アドバイス〕	1,494件
出張アドバイス	3,927件

②講習会等への講師派遣を行った。

・平成27年度福島県もりの案内人養成講座講師	1件
・福島市学習センター	2件
・諏訪野団地住民会議	1件

### 4) 情報収集事業

緑に関する季刊誌や県外の公園情報誌等から情報収集を行った。

## (2) 緑化推進の調査研究事業

### 1) リサイクル事業

① 剪定枝や松くい虫被害木はチップパーにより減容化し、施設内に保管した。  
(あづま、空港)

### 2) 生態系に配慮した事業

- ① 公園内生物調査を実施し、植生の把握に努めた。(あづま)
- ② 公園内に自生する植物の調査を実施した。(空港、逢瀬)

## 5 その他、この法人の目的を達成するために必要な事業【収益事業】

### (1) 都市公園の管理運営のうち、興行に類するものへの貸出に関する事業

#### 1) 興行に類するものへの貸出状況

- ① J3ユナイテッドホームゲーム (4月18・29日、5月10・17日、6月7・28日、7月26日、8月2・16日、9月13・23日、10月4・25日、11月8・15日、3月13日)、合計16試合
- ② ふくしまミュージック花火 (5月30日)
- ③ ロック・コープス (9月5日)
- ④ プロ野球 ヤクルト×巨人戦 (8月4日)
- ⑤ BCリーグ福島ホープス戦 (4月17・25・26日、5月20・21日、6月27日、9月19日)
- ⑥ 2015なでしこリーグ ベガルタ仙台×日テレベレーザ戦 (5月2日)

### (2) 緑化の推進に関する樹木等調査、緑地造成及び緑地管理の受託事業

#### 1) 緑化の推進に関する樹木等調査事業

##### ① 街路樹、緑の文化財等の樹勢診断調査及び治療処方箋作成

街路樹保全調査診断業務委託 (富岡町) 工期: H27. 11. 2~H28. 1. 29  
亀ヶ城公園老朽桜樹勢調査業務委託 (棚倉町)

工期: H27. 11. 27~H28. 3. 25

#### 2) 緑地の造成及び緑地管理事業

##### ① 各種緑地の調査、設計、管理業務

及川農村公園整備工事設計委託業務 (湯川村)

工期: H27. 8. 3~H27. 9. 30

##### ② 指定天然記念物や緑の文化財の調査診断、保全対策の設計、施工

指定天然記念物等定期診断業務委託 (郡山市)

工期: H27. 10. 1~H28. 3. 31

##### ③ 福島県立医科大学の緑地管理

福島県立医科大学緑地保全管理業務 (公立大学法人福島県立医科大学)

工期: H27. 4. 1~H28. 3. 31

##### ④ 「巨木・名木めぐり」講座

巨木・名木めぐり講座実施委託 ((株) NHK文化センター郡山支社)

工期: H27. 4. 1~H28. 3. 31

### (3) 利用者への利便性供与を目的とする物品販売等に関する事業

#### 1) 売店等の設置(あづま、空港、センター)

あづまに1箇所のレストラン及び空港に2箇所の常設売店を設置し、利用者への利便性向上に努めた。

また、センターの売店「公園の駅おうせ茶屋」は4月から11月にかけて営業し、利用者の利便性の向上と地域連携に努めた。

#### スポーツ大会、イベント開催時の臨時売店などの設置

	臨時売店	フリーマーケットなど
あづま	延べ264店	延べ318店
空港	延べ27店	延べ123店
センター	延べ14店	延べ12店

#### 2) 自動販売機の設置

	飲料水	飲食物
あづま	41台	7台
空港	8台	—
センター	2台	—

#### 3) スポーツ用品の販売(あづま、空港)

卓球ボールやバドミントンのシャトル等、スポーツ用品の販売を行い、利用者への利便供与に努めた。

#### 4) 地域の農産物の販売(センター)

6月～11月に12回開催し、530名の来園者に利用された。

### Ⅲ 役員等に関する事項

#### 1 理事、監事の状況

役 職	期 首 氏 名	変更事由等	任期満了 による改選 (平成 27 年 6 月 9 日)	変更事由等	補充選任 (平成 28 年 4 月 1 日)
			氏 名		氏 名
理 事	渡 邊 宏 喜	任期満了	渡 邊 宏 喜		
理 事	石 森 春 男	任期満了	石 森 春 男		
理 事	林 博 行	任期満了	林 博 行		
理 事	新 谷 崇 一	任期満了	新 谷 崇 一		
理 事	遠 藤 均	任期満了	遠 藤 均		
理 事	齋 藤 義 弘	任期満了	齋 藤 義 弘		
理 事	杉 明 彦	任期満了	杉 明 彦	辞任による	関 根 康 孝
理 事	水 戸 典 明	任期満了	水 戸 典 明	辞任による	松 本 秀 樹
理 事	森 崎 俊 紘	任期満了	森 崎 俊 紘		
理 事	若 松 伸 司	任期満了	若 松 伸 司		
監 事	齋 藤 忠				
監 事	二 瓶 正 浩				

#### 2 評議員の状況

役 職	期 首 氏 名	変更事由等	補充選任 (平成 28 年 4 月 1 日)
			氏 名
評議員	阿 部 雅 人		
評議員	齋 藤 卓 夫		
評議員	佐 藤 金 正	辞任による	西 山 尚 利
評議員	佐 藤 孝 男	辞任による	中 村 修 二
評議員	佐 藤 祐 一	辞任による	橋 本 隆
評議員	真 田 哲 也		
評議員	照 山 成 信		
評議員	畑 寿 子		
評議員	古 市 正 二	辞任による	伊 藤 直 樹
評議員	本 多 勉		

### 3 常勤役員の異動状況

新：理事長 渡 邊 宏 喜（平成27年6月9日再任）  
 新：常務理事 林 博 行（平成27年6月9日再任）  
 旧：理事長 渡 邊 宏 喜（平成27年6月9日任期満了）  
 旧：常務理事 林 博 行（平成27年6月9日任期満了）

### 4 常勤役員の兼職状況

兼 職 名	兼 職 者
(公社)福島県森林・林業・緑化協会理事	理事長 渡 邊 宏 喜
(公財)福島県スポーツ振興基金理事	〃
福島県体育施設協会会長	〃
(公財)日本体育施設協会評議員	〃

### 5 理事会及び評議員会の開催状況

開催月日	提 出 議 題
<b>第1回理事会</b> 平成27年5月26日 杉妻会館 出席理事 8名 出席監事 1名	議案第1号 平成26年度事業報告及び附属明細書について 議案第2号 平成26年度決算に係る計算書類及び附属明細書について 議案第3号 平成27年度第1回評議員会の招集（案）について
<b>第1回評議員会</b> 平成27年6月9日 杉妻会館 出席評議員 7名 出席監事 1名	議案第1号 平成26年度決算に係る計算書類及び附属明細書について 議案第2号 理事の選任（案）について 報告事項 平成26年度事業報告及び附属明細書について
<b>第2回理事会</b> 平成27年6月9日 決議の省略による方法 同意理事 10名 確認書提出監事 2名	議案第1号 代表理事（理事長）の選任（案）について 議案第2号 副理事長の選任（案）について 議案第3号 常務理事の選任（案）について

開催月日	提 出 議 題
<b>第3回理事会</b> 平成27年12月1日 決議の省略による方法 同意理事 10名 確認書提出監事 2名	議案第1号 特定個人情報の保護に関する基本方針の策定について 議案第2号 特定個人情報保護規程の制定について 議案第3号 特定個人情報安全管理細則の制定について 議案第4号 個人情報の保護に関する規程の一部改正(案)について 議案第5号 就業規則の一部改正(案)について 議案第6号 嘱託員就業規則の一部改正(案)について 議案第7号 業務員就業規則の一部改正(案)について 議案第8号 臨時業務員就業規則の一部改正(案)について
<b>第4回理事会</b> 平成28年1月28日 杉妻会館 出席理事 8名 出席監事 2名	報告事項 平成27年度職務執行状況報告(4月～12月)について 議案第1号 平成27年度補正予算(案)について 議案第2号 平成28年度事業計画(案)について 議案第3号 平成28年度収支予算(案)について 議案第4号 平成27年度第2回評議員会の招集(案)について
<b>第2回評議員会</b> 平成28年2月10日 杉妻会館 出席評議員 7名 出席監事 2名	報告事項1 平成27年度職務執行状況報告(4月～12月)について 報告事項2 平成27年度補正予算について 報告事項3 平成28年度事業計画について 報告事項4 平成28年度収支予算について
<b>第5回理事会</b> 平成28年3月24日 決議の省略による方法 同意理事 10名 確認書提出監事 2名	議案第1号 平成27年度第3回評議員会の開催(案)について
<b>第3回評議員会</b> 平成28年3月31日 決議の省略による方法 同意評議員 9名	議案第1号 評議員の補充選任(案)について 議案第2号 理事の補充選任(案)について

#### IV 特記事項

なし。